



グルメ クルマ ネット 住まい 実用物 働く

総合トップ 新着順 政治 社会 国際 地域 科学 環境 社説 読書 雑誌 選挙 動画 天気 交

ホーム > 社会

消防団員用の無線機、購入費補助の制度を新設

ツイートする BI 3 おすすめ 4 おすすめ チェック

巨大地震

東日本大震災で水門閉鎖や住民の避難誘導をしていた消防団員の多くが無線などの連絡手段を持っていなかったことから、総務省消防庁は、消防団員が使う携帯型無線機(トランシーバー)などの購入費を自治体に補助する制度を新設した。

先に成立した国の今年度第3次補正予算に関連費用として約20億円が盛り込まれた。同庁は「消防団員が1人1台の連絡手段を持つ態勢を整えたい」としている。

同庁が設けたのは、「消防団安全対策設備整備費補助金」。通信範囲が100～500メートルで、無線免許が不要な特定小電力のトランシーバーのほか、非常用発電機やライフジャケットなどを補助対象とし、購入する市町村に費用の3分の1を補助する。被災した168市町村については、残る3分の2も特別交付税で賄い、全額を国が負担する方針だ。

震災では、岩手、宮城、福島3県で計254人の消防団員が死亡・不明となった。同庁によると、消防団の多くは、ポンプ車に無線を装備しているが、震災時に水門閉鎖などに携わった団員の多くは無線などは持っておらず、団員同士の連絡は「携帯電話で」と決めていたケースも多かったとみられる。

(2011年11月25日14時34分 読売新聞)

最新主要ニュース8本：YOMIURI ONLINE トップ

PR情報

浄水器からモノを広めるPRまでにする企業2011

あなたの愛車、今いくら？売却を在価格を調べよう！【無料】

あなたのニーズに合わせた生涯頼れる医療保険



30歳男性 月々 2,000円

スタンダードプラン
・入院給付金日額5,000円
・保険期間/保険料払込期

アフラックは「がん保険」も「医療契約件数No.1」(平成22年度「インシュア

Aflac

詳しくは

今週のPICK UP

Berlitz 英会話を始めるならべ！初級者に支持されるのまず。ちゃんとした英語

忙しいビジネスマン、必キャリアアップして自分「時間がない」あなたに。

YOL 企業のトップ・メッセージ YOL特集-「日本を元々 PICK UP!

読売資産活用セミナーで増税時

「女性宮家」の創設について考え